【普通作物】の【台風】対策について
＜１０月＞

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

【普通期水稲】（登熟期～成熟期）

（１）予想される被害状況

① 強風による茎葉の損傷や籾擦れが発生する。
② 倒伏による登熟不良や稲株の枯れが発生する。
③ 高温乾燥風での玄米の登熟障害や稲株の枯れが発生する。
④ 浸･冠水や土砂の流入が発生する。

（２）事前対策

① 倒伏や脱水症状の軽減のため、深水管理とする。
※但し、成熟期にあるほ場や、棚田等で畦畔崩壊の恐れのあるほ場は行わない。
② 浸･冠水しやすい水田では、溝切りや排水溝の整備を行う。
③ 成熟期にあるものは速やかに収穫する。

（３）事後対策

① 台風通過後も吹き返しの高温乾燥風がある場合、生育障害が発生する恐れがあるので、風が止むまで湛水状態を保つ。
② 浸･冠水したところでは、速やかに排水して新しい用水と入れ替える。
③ いもち病や紋枯病、ウンカ類の発生に注意し適宜防除する。
④ 倒伏した株は隣の株に乗せたりして、穂が地面に接しないようにする。
※倒伏の状態によっては､株を動かすと損傷を大きくするので注意する。
⑤ 倒伏により穂発芽や病害虫被害の恐れのあるところでは、早めに収穫する。
穂発芽等の被害箇所は刈分けして、全体の品質が低下するのを防ぐ。
⑥ ほ場に飛散したゴミは､作業や機械に支障を及ぼすので早めに除去する。

【大豆】（莢肥大期）

（１）予想される被害状況

①　湿害による生育不良が発生する。
②　茎葉の損傷や倒伏が発生する。

（２）事前対策

①　浸･冠水に備え、溝切りや排水溝の整備を行う。

（３）事後対策

①　浸･冠水したら速やかに排水し、侵食された畦は早めに土寄せする。
②　倒伏した株はできるだけ起こして、土寄せする。
③　紫斑病やハスモンヨトウ等の防除を適宜行う。

【秋ソバ】（開花期～子実肥大期）

（１）予想される被害状況

①　風雨による株の倒伏や枯死、生育が不良となる。

（２）事前対策

①　溝切りや排水溝の整備など排水対策を行う。

（３）事後対策

①　速やかに排水を行い、侵食された畦は早めに補修する。